

発達支援センター通信

◆野洲市発達支援センター TEL587-0033、FAX587-2004

広報「やす」:2023年5月号掲載

おとな はったつしょう 大人の発達障がい

「発達障がい」という言葉は、メディアなどで扱われることもあり、徐々に知られるようになってきています。子育てや教育に関する話題が多いため、何となく「子どもの障がい」だと思っていないですか？

発達障がいの人は、生まれつき脳のはたらき(ものごとの感じ方や捉え方)が定型発達と呼ばれる多数派の人とは違うため、コミュニケーションや行動の面でうまくいかないことが多く、苦労しています。子どもの頃からその特性は現れますが、実は大人になっても多数派の人たちと一緒に過ごす中で苦労は変わりません。発達障がいのある大人の方は、自分の経験から、多数派になじめるように人知れず努力していたり、周りの人と距離を取って過ごしたりと、その人なりに努力や工夫をしながら生活している人が多いのです。中には、無理をすぎてうつやひきこもり、自己肯定感の低下など二次的な問題が出てくることもあります。また、環境が変化しうまく適応できなくなり、大人になってから「自分は発達障がいかもしれない」と初めて気づく人もたくさんいます。

発達障がいは脳のはたらきに起因するので治療という概念はありませんが、自身の努力や工夫だけでなく、環境(周囲の理解など)との相互作用により、うまく適応して生活していくことは可能です。

そのために、自分のことを正しく知ること(自己理解)や適切な支援の求め方、社会的なふるまい(ソーシャルスキルトレーニング)などを学んでいくことが重要です。特に大人の場合は、既に自分なりの工夫をしていたり自分に合った環境に身を置いたり、困りごとの程度に差があるため、その人に合わせて個別的对応する必要があります。

発達支援センターでは成人期のご相談にも応じています。特性のある人もない人も、お互いに理解し合いながら、多様性を受け入れられる世の中になると良いですし、発達支援センターが少しでもそのお役に立てればと思います。